

会 議 録

会議名 (審議会等名)		市役所さくら通り(市道市役所前通)道路改良検討会				
事務局 (担当課)		土木政策課 電話 042-769-8374(直通)				
開催日時		平成26年12月24日(水) 10時00分~11時45分				
開催場所		相模原市役所 会議室棟 1階 第1会議室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	6人(中央土木事務所、中央区役所地域振興課、中央地域まちづくりセンター、商業観光課)				
	事務局	6人(土木政策課長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1) 道路改良にかかる課題の整理について (2) 道路改良整備方針、方向性について 3. その他				

意見内容

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1. 開 会

2. 議 事

(1) 道路改良にかかる課題の整理について

第1回検討会の意見を受けて整理した4つの課題について、事務局より説明。

<道路改良にかかる4つの課題>

バリアフリーへの配慮

街路樹のあり方の検討

歩行者と自転車の通行環境の改善

側道のあり方の検討

(2) 道路改良整備方針、方向性について

バリアフリーへの配慮

主に道路の高低差に視点を置いたバリアフリーへの配慮について、事務局より説明

主な意見

現在は側道が低くそこに落ち葉が吹き寄せられている。高さが全て同じになると、落ち葉が巻き上がってしまうことから、道路の高さについては検討する必要があると思う。

高低差の解消は交差点のところだけとし、交差点以外は通りにくくした方がよいのではないかと思う。

なるべく現況を維持しながら交差点(横断歩道)のところを整備して歩きやすくしたらどうか。

バリアフリーに関して、車椅子とお年寄りの両方を考慮していかなければいけない。お年寄りには、横断歩道ではないところを横断することがあり危険であるため、横断歩道を無理なく渡れるようにして、他の部分は物理的に渡れないようにした方が、安全の面から見ても良いと思う。

道路は、高低差をつけずに同じ高さにしないといけないのか。

高低差により車椅子の方等は、道路の横断に対して不自由を感じているという意見があり、高低差の解消を目指していくこととなった。

車道や歩道などの区切りは付くということか。

そうである。植栽帯や歩道は現況と同じように一段高くする予定である。

車道、植樹帯、歩道等の区別は物理的にわかるようにする。

最近の集中豪雨を考慮して、排水の流れと傾斜に関しては考えてもらいたい。バリアフリーという考えの中には、大きな段差だけでなく、小さな段差が意外と事故になるということも理解してもらいたい。

排水溝のあたりを低くしないと水がたまってしまうため、排水について検討するべきだと思う。

街路樹のあり方の検討

街路樹のあり方について、事務局による説明。

主な意見

市役所前の通りは「市役所さくら通り」という名前が付いているとおり、この道路にとってサクラは重要である。

さくら通りでは春に「市民桜まつり」が行われることからサクラは大切である。ケヤキに関しては、今後の扱いについてどうするか検討する必要がある。

ケヤキを存続する場合、根元が太くなる、大きくなるなどの課題があるため、植栽枿を広げる等ケヤキの保全について、論議していく必要がある。

サクラと同様にケヤキも切るわけにはいかないと思う。

側道を狭くし、サクラの植樹帯を側道の方に広げるというのは良いと思う。

ケヤキの植栽枿も、少し側道の方に出してもいいのではないか。

また、ケヤキの植栽間隔が現状では窮屈に見えるため、間引き等してもいいのではないか。

街路樹の巨木化は他の自治体でも問題になっている。今後、街路樹をどう管理していくかということや、サクラやケヤキが狭い植栽帯に植わっているという状況をどう解消するか考えなければいけないと思う。1本おきに間引きすることや、剪定して樹形を小さくする方法もある。

ケヤキの間隔に関して、適正な間隔というのはどれくらいなのか。

最近、新しく街路樹を植栽する場合は、10m位の間隔としている。

「市役所さくら通り」という名前にもあるように、サクラはシンボリック的存在であり、サクラを残すという話になると思う。ケヤキは1本ずつでも間引く等の方針を打ち出さないといけないのではないか。

サクラを切るわけにはいかないと思う。ケヤキにある程度痛みを感じてもらうことになると思う。

今は、「バリアフリーへの配慮」と「街路樹のあり方について」議論しており、

この後に「歩行者と自転車の通行環境の改善」と「側道のあり方の検討」の説明があると思うが、全て平行して考えるべきだと思う。

整備の視点からの意見と、利用者の方からの意見、両方から意見を投げかけないといけない。樹木の寿命や適正な間隔は専門的な話であり、方針が決まっている部分もある。それを無視してはできない。

歩行者と自転車の通行環境の改善

側道のあり方の検討

歩行者と自転車の通行環境の改善及び側道のあり方の検討について、一括して事務局より説明。

主な意見

西門の区間を例にとると、自転車レーンに車が停まってしまうことがあり、自転車は車を避けて車道に出て走行しなければならないことがある。このような状況になると交通事故が懸念されることから、側道の活かし方と自転車レーンのことに関してきっちりと方向性を出さないと、側道のあり方についての論議がまとまらないのではないか。

市役所さくら通りは店や駐車場が多いので、側道を無くすと多くの車の乗入れ箇所が整備されることとなる。

市民桜まつりの点から言うと、歩道と自転車道がきっちりと分離されてしまうと、確実に屋台に関して不具合が出てくる。現在は側道部分（6m）にテントや屋台を立てている。市民桜まつりを運営する側としては、現状をなるべく維持した形で整備することを考えていただきたい。

側道を無くしたときに、例えば郵便局へ行くために、ちょっと停めていく方はどこに停めればいいのか、沿道の施設の駐車場をきちんと整備していかないといけないのではないか。

側道の幅員はどの程度にするのか。3m程度の幅員にすれば、そこに停める人はいなくなると思う。4mにすると停めてしまうかもしれない。側道は沿道の駐車場等に入るために必要であるし、サクラを切らないためにも必要である。

横山二丁目交差点の方は小さな商店が多く、側道が無くなったらお客が入らなくなるのではないか。

側道に駐車場を整備し、料金をとる等、駐車場としての管理をきちんとする方が良いのではないか。

側道に接している家に入るためのスペースとして、側道は車1台分の幅員を確保して整備するのはどうか。

現在の幅員6mのうちの3mは側道、残りの3mのうち2mは自転車道として、残りの1mはケヤキの植栽柵を広げる。こうすれば幅員6mをうまく利用

できるのではないか。

沿道の敷地に入らなければならないところは側道を整備する。お店があっても駐車場がない場合等は、側道は整備しないという判断も必要ではないか。

側道を車1台分の幅員とするという意見があったが、1台停まったらもう先に行けない側道なら無い方がいい。

国道16号の整備について、住民からの反対意見はなかったのか？

一般的な市民の方は反対しないと思う。駐車場の出入りの切り下げがもともとあるところは、乗入れ部を整備してくれる。

資料33ページの左の案は、側道を全部廃止するという事か。この案が一番安全で良いし、賑わいができるのではないかと思う。側道を無くすと、乗り入れの問題でサクラを切らないといけない部分が出てくる。サクラを切ることになっても、目指すべき最終形はこれなのではと思う。

駐車場を持たない商店の前は側道を無くし、郵便局や警察の前は停めることができた方がいいとなると、その有る無しの差別を決めるのが非常に難しい。なぜそのように決めたのか説明はしなければいけない。

場所によって断面を変えるということ自体がおかしな話なのではないか。

資料33ページの図面はケヤキを伐採しているが、ケヤキは切ってしまうというのも一つの案だろう。ケヤキを切っても良いという条件であれば、このような歩行者空間が整備できると思う。

ケヤキのあり方に関しては、これから議論してもらおう予定である。ケヤキを維持する案もあるし、植え替える案もあるだろう。図示しているのは、ケヤキを切るという案だが、この点に関してはこれから議論していただくということで考えている。

3. その他

次回の日程：2月17日（火）午後2時（予定）

以 上

市役所さくら通り（市道市役所前通）道路改良検討会
委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	伊藤 紀子	F . C ボランティア代表		出席
2	浦上 裕史	西門地区商業地活性化協議会会長		出席
3	佐々木 亮一	相模原市民まつり実行委員会委員長		出席
4	重江 晶子	相模原警察署交通第一課課長		出席
5	代田 昭	中央地区自治会連合会会長		出席
6	竹田 幹夫	星が丘地区自治会連合会会長		出席
7	内藤 研二	N P O 法人みどりのお医者さん副理事長	副会長	出席
8	山田 利明	社団法人倫理研究所家庭倫理の会相模原市		出席
9	横山 房男	相模原中央商店街協同組合理事長		出席
10	匂末 敏男	相模原市役所都市建設局土木部部长	会長	出席